

.....編集後記.....

◆3月号のこの欄で、日本の地質学の歴史や大先輩に関する記事を掲載していくことを予告しましたが、さっそく杉村 新先生から、望月勝海・大塚弥之助両先生についてご寄稿頂きました。また、八木健三先生からは、「神津叔祐と実験岩石学」をご寄稿頂き、これは来月号に掲載されます。これらは、日本の地質学の歴史に関する貴重な文献として、後々まで利用されるでしょう。ご寄稿頂いた両先生に厚くお礼申し上げます。

◆岩松 暉・小野晃司両氏には、昨年筑波で行われた当所の第214回研究発表会「地質文献情報の45年」での講演内容を書いて頂きました。西井上剛資・鍵山恒臣の両氏からは、それぞれ表紙とグラビアの写真を頂きました。以上の皆様にもお礼申し上げます。

◆本誌をよく読んでいるのはどういう人達なのか？これは編集する側としては最も気になる点のひとつなのですが、残念ながら詳しいことは判らないというのが実情です。しかし、「IGC 事務局ニュース」や「地質情報」の欄への反響を見ていると、やはり購読者が最も熱心に読んで下さっているようです。

◆当所のOBも極めて熱心な読者である事は、先頃行ったアンケートに対する回答率が60%を超えているという点にも表れています。アンケートの回答

を見ると、最近の本誌が大多数の方から高い評価を得ている事が判りますが、一部には批判的なご意見もありました。頂いた回答内容は、今後の編集・発行方針を考える上で、貴重な資料となります。ご回答下さった皆様にお礼申し上げます。

◆先月号のこの欄で少し触れましたが、本誌を届けている公的機関に対し利用状況を調べるアンケートも実施しました。この結果をもとに、配布リストの全面的な見直しを行い、回答の無かった機関や組織の性格が変わった機関への配布を中止または削減する一方で、県立図書館等への配布を増やしました。主要報道機関へも本誌を届けてきましたが、その反応は様々で、「技報・学会誌から」の欄でしばしば本誌を紹介してくれる「日刊工業新聞」のような新聞があるかとおもうと、届けている部局の記者が本誌の存在すら知らないという新聞社(N)もありました。IGCに関連して各社から取材を受け、はからずも利用状況が判明した訳ですが、見直しにあたっての格好の判断材料になりました。N社が削減対象になったのは言うまでもありません。このような配布先の見直しは今後も続けていく予定です。

副委員長 佐藤興平 記

地質ニュース編集委員会

委員長：佐藤壮郎

副委員長：佐藤興平・磯部一洋

幹事：宮崎光旗・奥村公男

委員：柴田 賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生

事務局：総務部業務課広報係（山口秀樹・清水真寿美）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所  
地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520  
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地 質 ニ ュ ー ス	第455号 1992年7月号
	定価 ¥ 770 千 実 費
1992年7月1日 発行	
編 集	工業技術院地質調査所
発 行人	林 久 雄
発 行 所	株式会社 実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒 102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京 1-32466
	麹町局私書箱第21号
印 刷	小宮山印刷工業株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。